

事業概要：ちば起業家育成事業

旧制度（推進）

申請者	千葉県	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	54,000千円 (18,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	県内様々な地域で、若年層を対象としたその地域の特性を踏まえた独自の体験型プログラムを実施し、参加者のアントレプレナーシップ獲得を支援。これらの取組を通じて、参加者の将来の職業選択の幅を広げるとともに、県全体の若年層の起業機運を高める。各プログラムは、県内企業・地域や教育機関と連携して取り組む。また、一部プログラムでは、参加者を対象に支援講座を実施し、デジタル技術を活かしたビジネスプラン作成などを強力に推進。		
事業概要・主な経費	【事業概要】 若年層のアントレプレナーシップ（起業家精神）向上を支援し、将来の職業選択の幅を広げるとともに、本取組を広く周知・啓発し、若い世代に起業を身近に感じてもらうことで、更なる起業機運の醸成につなげる。 【R8年度事業 経費内訳】 ①小中学生向け起業体験会の開催(委託費) 10,500千円 将来の千葉県を担う意欲的な小中学生を対象として、県内企業を相手方としたBtoB型の起業体験プログラムを2カ所で開催。 ②高校生・大学生等向けビジネスプラン作成ワークショップの開催(委託費) 6,500千円 起業に興味がある高校生・大学生等を対象としたビジネスプランを立案するワークショップを開催。 ③高校生等向け起業家講演会の開催（委託費）1,000千円 若い世代に起業をより身近に感じてもらうため、起業家による講演イベントを開催。開催の様子は別途、オンライン配信を行う。		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域へのUIターン数（+3名） ②小中学生向け起業体験会申込者数（+80名） ③高校・大学生向けワークショップ修了者数（+25名）		
	URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.chiba.lg.jp/keishi/sougyou/kigyuu-ikusei.html	

事業概要：地域公共交通「リ・デザイン」推進事業

継続

申請者	千葉県					初回採択回	令和7年度第1回募集	
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	300,000千円 (100,000千円)	
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業			
目的・効果	地域の実情に応じた路線の再編や交通モードの転換に取り組む市町村や交通事業者等に対する支援を行い、利便性・生産性・持続可能性の高い公共交通への再構築（リ・デザイン）を推進する。 リ・デザインにより、交通ネットワークの維持・確保・充実を図ることで、県民が暮らしやすい地域づくりを実現する。							
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 地域公共交通の維持・確保に向けて、より利便性・生産性・持続可能性の高い公共交通への再構築（リ・デザイン）を推進するため、地域の実情に応じた路線の再編や交通モードの転換などに取り組む市町村や公共交通事業者等に対し、支援を行う。					県民が暮らしやすい地域づくり ▲ 持続可能な公共交通の実現 ▲ 調査・実証事業等の実施 ▲ 原因分析・解決策の検討 ▲ 地域の交通課題 「②市町村・交通事業者等への補助」により事業を促進 「①検討支援・相談」により事業化に向け支援		
	【R8年度事業 経費内訳】 ①再構築に向けた検討支援・相談 40,000千円（委託料） 市町村等の課題解決に向けて、事業企画等に対する相談支援を行う。 ②市町村・交通事業者等への補助 60,000千円（補助金） 地域公共交通の再構築や交通空白の解消に向けた取組に要する調査・実証事業等の費用に対し、補助する。 《対象事業》 (1)地域公共交通の再編・交通モードの転換に向けた取組 例)スクールバスへの混乗、車両のダウンサイジングによる効率化 (2)交通DXを活用した取組 例)自動運転、バス情報オープンデータ化							
主なKPI	①住み続けたいと思う県民の割合(+1.4%) ②リ・デザインが実現した公共交通の数(+17件) ③リ・デザインに向けて調査や実証事業に取り組む公共交通の数(+21件) ④リ・デザインに向けて問題意識の共有や解決に向けた検討を進めた公共交通の数(+15件)					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL		https://www.pref.chiba.lg.jp/seisaku/chihousousei/sougousenryaku/suishinkaigigaiyo.html

事業概要：漁業の担い手確保・育成総合対策事業

継続

申請者	千葉県					初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	51,278千円 (25,110千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	全国的に少子高齢化・人口減少が本格化する中で、漁業における従事者数の減少や高齢化は、より一層顕著であることから、地域の漁業現場においては、経営基盤や技術が継承されず、厳しい状況に直面している。 そのため、若年層に漁業への就業に興味・関心を持てるよう、漁業の魅力発信に取り組むとともに、漁家子弟をはじめとした就業希望者への技術的・経済的な支援を行うことで、新規漁業就業者の確保・定着を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 全国の漁業就業希望者に千葉県漁業の魅力を伝えるため、漁業種類ごとにPR動画を作成し、県HPや動画配信サイトで公開・配信するとともに、SNS等を活用した情報の発信を図る。 また、漁業就業希望者に対し、最長2年間の研修を実施する。					漁業研修の様子 	
	【R8年度事業 経費内訳】 まき網、定置網、立縄など、15種類の漁業の紹介動画を作成する。また、最長2年間の研修に要する経費を支援する。 ・漁業の紹介・就業PR動画の作成（委託料）10,750千円 ・新規就業者定着・技術向上支援事業 14,360千円（内訳） 報償費 13,260千円（研修講師） 消耗品費（研修生が使用するライフジャケット等の装備品）600千円 役務費（講師の賠償責任保険）500千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①新規就業者数（+14人） ②県が実施する漁業体験の延べ参加者数（+38人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.chiba.lg.jp/seisaku/chihousousei/sougousenryaku/suishinkaigigaiyo.html

事業概要：千葉の自然を活用した観光地域づくり促進事業

継続

申請者	千葉県、大多喜町					初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R11年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	1,667,880千円 (464,880千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	養老渓谷温泉郷において、市町や観光関係団体、民間事業者など、多様な主体と連携しながら、地域のブランディングや観光コンテンツの開発、観光客の利便性向上に向けた取組や交通量の増加に対応した道路拡幅、大雨災害等に対する道路法面の崩落対策による安全で快適な観光などを推進することで、観光入込客数の増加、滞在時間の長期化や宿泊の増大を図り、域内消費額の増大による地域経済の活性化を目指す。 さらに、こうした取組により観光地としての付加価値や魅力を高めることで、域外資本の誘致や新規事業者の参入を促す環境を創り出し、更なる観光地の活性化や新規雇用創出を図っていく。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 養老渓谷温泉郷において、地域事業者と連携しながら、山や川を活用した新たなコンテンツの開発や、観光客の交通の利便性向上に向けた取組、温泉の泉質の科学的調査に基づくプロモーション等を実施し、多角的な観光地整備に取り組む。併せて、駐車場や道路整備などのインフラ整備も推進することで、魅力的な観光地域づくりを進める。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・地域一体となった観光地整備に向けた協議会の運営・調査（負担金）35,000千円➡ ・泉質の科学的調査に基づくプロモーション・商品開発可能性調査（負担金）20,000千円 ・広域周遊モビリティ・域内周遊モビリティ確保に向けた調査（負担金）50,000千円 ・新たな観光コンテンツ造成（負担金）175,000千円 ○拠点整備事業 ・大型バス専用駐車場の整備（新設） 77,880千円 ○インフラ整備事業 ・地域内の狭隘道路の拡幅や道路法面の補強 107,000千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①域内観光入込客数（養老渓谷温泉郷エリア内の観光入込客数）（＋168,851人） ②ナイトイベント売上高（＋302,484千円） ③新規ツアー造成数（＋5件）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.chiba.lg.jp/seisaku/chihouseisei/sougousenryaku/suishinkaigigaiyo.html

申請者	千葉県					初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	109,000千円 (60,000千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	印旛沼周辺地域は、都心から40km圏内にありながら豊かな自然に恵まれ、歴史的遺産も数多く残されており、かつては沼を中心とした生活文化が形成されていた。しかし、近年の市街化等により沼の貴重な自然環境や水と人との係わりが失われ、周辺環境の持つ様々な資産を地域の賑わいや観光に活かされていない現状である。 一方、年間約30万人が訪れる観光拠点である佐倉ふるさと広場ではR8年度から規模を1.4haから10.2haに拡張する工事や水に親しめるような水辺拠点の整備が予定されており、観光客数や観光消費増加の契機となっている。 そこで、市民団体、企業、地元市など多様な主体と連携し、水辺拠点整備等と一体となって相乗効果を発揮する賑わいの創出や、自然再生などの取組を推進し、更に観光客などが集まることで、地域の活性化を図っていく。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 印旛沼流域において、既存の水辺拠点を中心にイベント開催、環境学習等を支援することにより、水辺の利活用の推進や自然再生の取組の認知度向上を図るとともに、グリーンインフラの取組推進や地域の魅力向上等のための情報発信などを行うことで印旛沼周辺の活性化や観光客増加を図る。						
	【R8年度事業 経費内訳】 利活用推進事業（委託料）60,000千円 ・水辺の利活用推進のためのイベントや環境学習の支援 ・グリーンインフラの認知度向上や代表地区での取組支援 ・情報プラットフォームの構築、グリーンインフラ推進や魅力向上のための情報発信						
主なKPI	①印旛沼周辺地域の観光消費額（+6,600万円） ②観光拠点の来場者数（+1万人） ③水辺を活用したイベントの実施数（+5回） ④地域で活動実績のある市民団体や企業数（+5団体）					URL	https://inba-numa.com/

※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値

※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL

事業概要：千葉の「海」を活用した観光地域づくり促進事業

新規

申請者	千葉県、勝浦市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	830,000千円 (240,000千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	内房（富津市・鋸南町・南房総市・館山市）・外房（勝浦市・鴨川市）地域において、地域の多様な主体と連携しながら、海や夕陽といった、豊かな自然を活用し、持続的な観光地域づくりを推進することで、観光消費額や宿泊客の増加、インバウンドの誘客などを図り、地域の観光振興と経済活性化を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 地元自治体や地域事業者など、多様な事業者が参画する協議会を設置・運営し、地域のあり方や具体的な施策の議論・合意形成を進めながら、観光客受入環境整備や、地域資源活用のための調査・研究、夕陽やナイトタイムなどを活かしたコンテンツの開発、インバウンド対応の交通ネットワーク整備等を段階的に展開し、地域経済の持続的な発展・観光振興に資する取組を実施する。					 鏡ヶ浦・北条海岸（館山市）からの美しい夕陽  勝浦海中公園 海中展望塔	
	【R8年度事業 経費内訳】 ・地域一体となった観光地域づくりに向けた協議会の運営 ↳ 地域の合意形成や事業検討（委託料、使用料、謝金等）10,000千円 ・観光地域づくり推進のための調査・研究 ↳ 観光地域づくりに向けた長期的・戦略的調査（委託料等）120,000千円 ・コンテンツ・アクティビティの造成に向けた実証事業 ↳ 海や夕陽を活用した新たな観光コンテンツ造成（委託料）60,000千円 ・千葉の「海と夕陽」に係るブランディング・プロモーション ↳ プロモーションを通した魅力発信の強化（委託料）25,000千円 ・インバウンド向け交通アクセス改善モデル事業 ↳ 地元自治体や交通事業者と連携した実証事業（委託料）25,000千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①事業実施地域内における観光入込客数（+2,626千人） ②事業実施地域内における宿泊客数（+745千人） ③インバウンド対応の周遊バスルート造成数（+4ルート） ④新規観光コンテンツ造成数（+8件）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.chiba.lg.jp/seisaku/chihouseisei/sougousenryaku/suishinkaigaiyo.html

事業概要：千葉県・市原市・木更津市・大多喜町が連携した芸術祭を契機とした観光振興事業

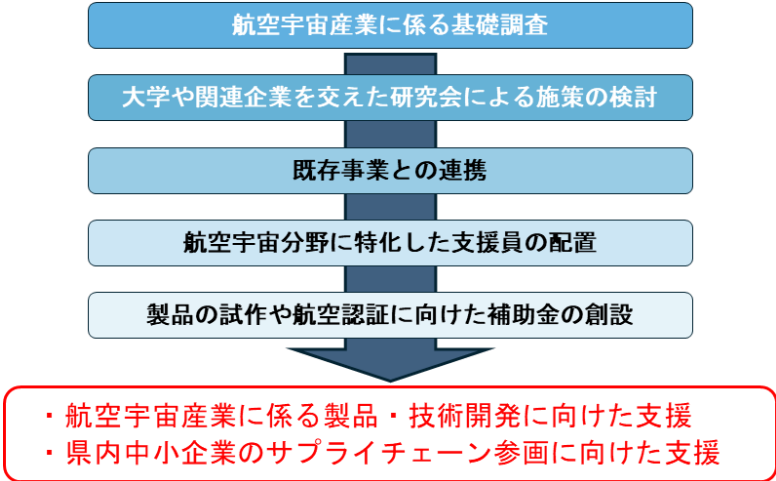
新規

申請者	千葉県ほか3自治体※					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 （カッコ内はR8年度事業費）	375,800千円 （237,800千円）
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・芸術祭を魅力ある観光コンテンツとして形成することで、地域のブランド力を向上させ、魅力発信を行う。 ・それにより、地域の認知度が高まり、観光客が増加することで、地域内の消費拡大、地元事業者の付加価値の向上、地域経済の活性化につなげる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 千葉県、市原市、木更津市、大多喜町が広域で連携する新たな取組として、芸術祭を3年に1回開催し、自然、歴史、文化、産業、食をはじめとした地域資源とアートを掛け合わせることで、アートを通じた地域の魅力発信につなげ、地域のブランド力を向上させる。それにより、芸術祭の開催期間外についても、交流人口の拡大を通じた地域経済の活性化を目指す。また、飲食店や宿泊事業者等の地域の事業者と継続的に連携する事業スキームを構築し、地域の事業者の付加価値向上を目指す。					【作品展開例】  Photo by Nakamura Osamu 	
	【R8年度事業 経費内訳】 ・アートコンテンツ制作（委託料）182,700千円 ・音楽コンテンツ制作（委託料）30,000千円 ・地域内周遊のためバス等による二次交通の確保（委託料） 10,000千円 ・ツアー造成・運行委託（委託料）2,000千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①域内観光入込客数（+25万人） ②経済波及効果（+28.8億円） ③連携事業者数（+300社）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.chiba.lg.jp/seisaku/chihousousei/sougousenryaku/suishinkaigigaiyo.html

※千葉県、市原市、木更津市、大多喜町の広域連携事業

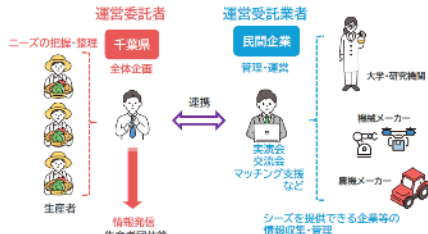
事業概要：航空宇宙産業振興事業

新規

申請者	千葉県					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	270,000千円 (30,000千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・航空宇宙をテーマとした研究会による産学官連携の強化を通じて、より高付加価値な製品の開発に繋げるとともに、千葉県が持つ航空宇宙分野での優位性やポテンシャルを深掘りすることにより、効果的な施策を展開する。 ・航空宇宙産業の振興に向けた伴走支援、補助金等をパッケージとして取り組むことで、中小企業における製品開発やサプライチェーンへの参入、スタートアップの創出を加速させる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 成田空港の拡張事業を契機に、空港と親和性が高く今後の成長が見込まれる航空宇宙産業分野について、基礎調査や研究会を通じた支援策の検討を進めるとともに、中小企業等に対する伴走支援や製品開発・国際規格の認証に向けた補助等を通じて、県内における産学官連携による技術開発の促進や、ものづくり中小企業による部品製造などのサプライチェーンへの参入、スタートアップの創出に繋げていく。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・航空宇宙産業の振興に向けた基礎調査の実施（委託料）28,000千円 航空宇宙産業に係る産業創出に向けて、大学や企業に対するヒアリング等を通じた研究開発状況の掘り起こしや、今後有望となり得る分野、千葉県の優位性等について、専門的な見地から調査を行う。 ・大学や関連企業等を交えた研究会の立上げ 基礎調査事業と並行して、産学官連携による技術開発を促すための取組や、部品製造・供給等による新規参入支援策などに関して、大学や企業等を交えた議論を行う。 (報償費、会場賃借料等) 2,000千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①産学官連携プロジェクト・研究開発案件の創出（+17件） ②航空宇宙分野への参入企業数（+9社） ③航空宇宙関連の研究シーズの掘り起こし（+75件）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年7月公表予定

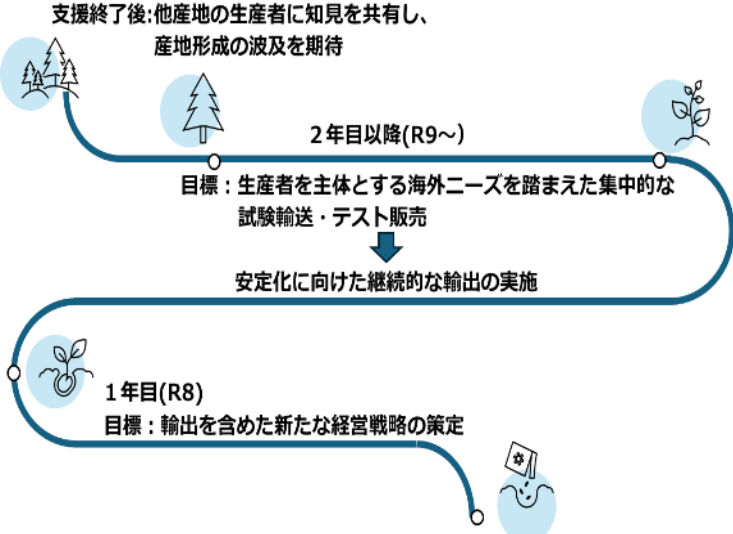
事業概要：持続可能な農業の推進事業

新規

申請者	千葉県					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	82,500千円 (23,000千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	遊休農地の解消、企業参入による担い手の確保、スマート技術の導入による生産の省力化・効率化による所得向上に、一体的に取り組み、農業の生産性向上と、農地利用の最適化を実現し、地域を支える重要な産業である農業の持続的な発展を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 生産力の強化と省力化を両立させたスマート農業技術の導入を進め、少ない農業従事者でも大規模な生産を可能とすることで、「稼げる農業」を実現する。 遊休農地情報を活用し、農業生産に意欲のある企業と遊休農地のマッチングを円滑に進めることで、企業の農業参入の気運を醸成する。また、すでに農業を営み、経営規模の拡大を目指す企業・個人と遊休農地とのマッチングも進めることで、担い手への農地の集積・集約化を進め、最適な土地利用を実現する。					【リモートセンシングシステム使用イメージ】  【プラットフォームイメージ】 ちばの園芸スマート農業推進プラットフォーム 	
	【R8年度事業 経費内訳】 ・遊休農地リモートセンシング導入モデル事業 5,000千円 (システム使用料等) ・地域における農業参入受入れ体制サポート事業 3,200千円 (セミナーの開催、企業農参入アドバイザーの地域派遣等) ・農業系企業との交流イベントへの出展事業 4,800千円 (イベント出展費用等) ・千葉県園芸スマート農業推進プラットフォーム事業 10,000千円 (プラットフォーム活動費)						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①農業経営体当たりの生産農業所得 (+120万円) ②遊休農地リモートセンシングに取り組む市町村数 (+12市町村) ③リース法人の数【千葉県】(+66法人) ④農業参入受入れ体制サポート事業で支援を行った市町村・組織の数 (+15件) ⑤プラットフォーム活動参加者数【延べ人数】(+180人)					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.pref.chiba.lg.jp/seisaku/chihousousei/sougousenryaku/suishinkaigigaiyo.html

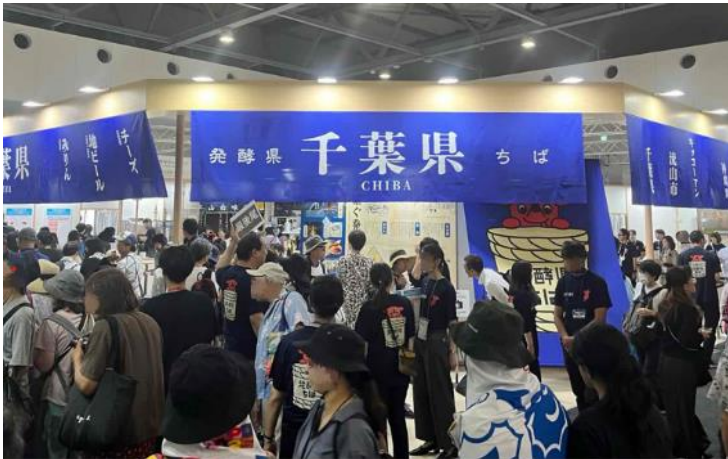
事業概要：輸出に取り組む生産者のリーディング事例構築事業

新規

申請者	千葉県					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	45,000千円 (15,000千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	○輸出に取り組む意欲が高く「地域の核」となり得る生産者を複数選定し、継続的な個別伴走支援を行うことで、輸出に取り組む県内生産者のモデル事例を構築する。 ○県内の地域の核となる生産者を中心として、地域の関係者で組織する輸出推進体制（協議会の形式を想定）を整備し、自発的な輸出に取り組むことで、上記の目標及び国の輸出目標の達成に寄与することを目指す。 ○輸出を含む経営戦略の策定支援を通じて、支援対象者の商品の付加価値向上と海外販路の拡大を図り、中長期的には、地域が主体的に農林水産物の輸出に取り組むことで地域経済の拡大を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 「千葉県農林水産物輸出活性化取組方針」で定める輸出ポテンシャル品目の生産者を対象に4者程度を選定して3年程度の継続的な伴走支援を実施する。具体的には、コーディネーター（事業受託者）が、品目の特性や支援対象者の経営理念に基づき、県が定めるカテゴリー別の支援メニューを組み合わせることで、個別の伴走支援計画を策定する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・輸出に取り組む生産者のリーディング事例構築事業(委託料)…15,000千円 生産・出荷オペレーションの分析及び財務面から現状を分析する。さらに、ターゲット国・地域で試験輸出・テスト販売を実施し、その結果から得られた知見を踏まえて、輸出を含む個別の経営戦略策定を支援する。						
主なKPI	①千葉県全体の農林水産物輸出額（+1.2億円） ②輸出に取り組む生産者数（+16人） ③県内地域における「輸出協議会」の設立件数（+4件）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	○千葉県地方創生総合戦略推進会議 https://www.pref.chiba.lg.jp/seisaku/chihousousei/sougousenryaku/suishinkaigigaiyo.html

事業概要：発酵県ちばプロモーション事業

新規

申請者	千葉県					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	91,200千円 (30,400千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・県全体で発酵の取組を推進することで、本県は多彩な発酵の魅力があふれる「発酵県ちば」というブランドイメージを定着させる。 ・本県に愛着を持つ県民を増加させるとともに、県内各地に数多くある魅力あふれる発酵関連施設等への誘客を促進することで、県内の観光入込客数の増加、県内の滞在時間の長期化や宿泊の増大、県内消費額の増大など地域経済の活性化を目指す。 ・市町村や事業者の横断的な連携を促進し、地域での新たな取組などが生まれ持続可能な地域づくりにつなげることを目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 本県が誇る多様な発酵文化等について国内外に広く発信することで、「発酵県ちば」のブランド化を図る。 「発酵県ちば」のブランドイメージを定着させることで、県内の観光入込客数の増加、県内の滞在時間の長期化や宿泊の増大、県内消費額の増大など地域経済の活性化を目指す。						
	【R8年度事業 経費内訳】 (1)発酵イベントの企画運営（委託料）10,500千円 県内の飲食店等が出展を行うグルメフェスイベントを開催する。 (2)イベントへのブース出展（委託料）9,900千円 県内外4か所程度のイベントで発酵ブースを出展する。 (3)発酵を軸とした県内誘客の促進（委託料）9,000千円 発酵関連の観光コンテンツを把握するとともに、外国人へのPR効果が高いコンテンツを調査する。 (4)啓発物の作成（委託料）1,000千円						
主なKPI	①観光総消費額（+4,596億円） ②農業・漁業生産関連事業の年間販売金額（+73億円） ③発酵県ちばのブランドイメージの認知度（+32%）					URL	https://www.pref.chiba.lg.jp/seisaku/chihousousei/sougousenryaku/suishinkaigigaiyo.html

※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値

※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL

事業概要：幕張新都心を中心とした先端技術実装による都市型未来都市の実現

旧制度（推進）

申請者	千葉県千葉市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	389,406千円 (26,000千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・Society5.0型	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	・ドローンや自動運転モビリティ等の先端技術産業の集積により、域内資源との創発を引き出し、幕張新都心の活性化に寄与する。 ・先端技術の導入・社会実装に向け、住民の理解等、社会受容性を拡大する。 ・自動運転モビリティ等により、域内の回遊性向上を図り、まちの賑わい創出に寄与する。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 多様な主体が参画した官民協働による社会課題解決型の新しいサービスを確立する事業を実施する。	   	
	【R8年度事業 経費内訳】 ● 自動運転車の社会実装に向けた実証 ・ 自動運転サービス実証 26,000千円 ※実装時期見込 2027年度		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①新たに社会実装した先端技術を活用したサービス利用者数 (+94,192人) ②社会受容性の拡大に資する事業への参加者数 (+2,520人) ③新たに社会実装した先端技術を活用したサービス数 (+6サービス) ④幕張新都心の日々活動人口 (+15,000人)		URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL https://www.city.chiba.jp/sogoseisaku/sogoseisaku/kikaku/07chiho-usouseibukai.html

申請者	千葉県千葉市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	165,645千円 (85,845千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	千葉開府900年記念の取組みを通じて、「子どもや若者が郷土への誇りと愛着を感じている街」、「未来のまちづくりを担う人材や企業が育成・輩出される街」、「多様な主体による新たな交流・連携による好循環が生まれる街」の実現を目指す。 全ての対象事業について子どもや若者を主な対象として実施することにより、若者を中心とした多様な市民や企業等による新たな交流・連携の好循環が生まれ、本市の社会・経済・文化を支える新たな価値を創出できる人材や企業が育成・輩出される街（＝若者に選ばれる街）の実現を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 郷土への誇りと愛着の醸成へ向けて、幅広い世代や属性の市民（特に子どもや若者）が街の歴史を知る機会を増やす。 若い世代が街の未来を考え行動することを促すとともに、若い世代を中心とした地域の様々なつながりを再構築するため、市内にも知識やスキルを得ながら活躍できる選択肢は多くあることを知る機会や、多様な属性の人たちとの地域活動を通じて様々な経験を積むことができる機会をつくる。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・クラウドファンディング活用支援事業（委託料）1,000千円 ・千葉開府の歴史を辿るスポーツイベント（負担金）15,000千円 ・企業連携による若者参加企画（負担金）10,000千円 ・アントレプレナーシップ教育高校生海外派遣プログラム(負担金) 15,445千円 ・起業家海外展開実践研修プログラム（委託料）29,500千円 ・市民参加型マンホール点検必要箇所抽出イベント(委託料) 14,900千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①22～29歳の転出者数の減少数（▲600人） ②千葉開府900年記念が、街の歴史を振り返る機会になったと思う市民の割合(+75%) ③市に愛着を感じている市民の割合(+75%) ④千葉開府900年記念メンバーシップ登録者数(+220者) ⑤地域活動を行っている市民の割合(+9%) ⑥千葉開府900年が、まちの未来を考える機会になったと思う市民の割合(+70%)					URL ※交付金の具体的な使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.chiba.jp/sogoseisaku/sogoseisaku/kikaku/chihousouseibukai.html

事業概要：動物公園湿原ゾーン再整備事業

新規

申請者	千葉県千葉市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	2,090,000千円 (840,000千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	現ゾーンを、動物の生息環境を再現した「湿原ゾーン」としてこれまでにない没入感のある展示空間に再整備し、希少種で人気の高いハシビロコウ、ビーバーやカピバラをはじめとした動物を展示する。また、社会教育施設及び自然保護拠点としての機能強化により、動物公園の魅力及び認知度の更なる向上と、都市圏の回遊の促進を図り、地域の観光産業の活性化と観光消費の拡大を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 現「鳥類・水系ゾーン」を、ハシビロコウ、ビーバー、カピバラ、コツメカワウソなど湿原に生息する動物を展示する「湿原ゾーン」としてリニューアルを行う。整備にあたっては、アニマルウェルフェア向上、生物多様性保全、SDGsといった視点を取り入れつつ、動物の生息環境を再現した展示空間を整備する。特にハシビロコウを繁殖注力種とし、アジア初となる繁殖を目指す。 リニューアルを行うことで観光施設としての魅力を向上させ、入園者数及び有料入園者割合の増加を目指す。加えて、千葉市内外の多様な業種と連携して集客施策を実施することで、千葉市動物公園への集客向上はもとより、周辺の観光施設への回遊を促し、市内及び周辺自治体への波及効果の向上を図る。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・展示施設整備 840,000千円 コツメカワウソ舎増築工事 スナドリネコ舎増築工事 等						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①観光入込客数（+314万人） ②動物公園入園者数（+39万人） ③動物公園来園者の観光消費額（+88億円） ④動物公園の有料入園者割合（+14.9%）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.chiba.jp/sogoseisaku/sogoseisaku/kikaku/chihousouseibukai.html

事業概要：ドローン産業拠点化推進事業

新規

申請者	千葉県千葉市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	11,838千円 (3,946千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・ドローンの開発、製造、に携わる中小企業・スタートアップ、ならびに関連人材が一定程度集積しつつあり、ドローン産業は地域特性を活かした新たな地場産業として成長可能性を有していることから、ドローン関連企業の研究開発を支援することで、これまでの「ドローン宅配構想」の実現を目指す取り組みにより判明した課題・ニーズを解決し、ドローン産業が集積する、東京とは異なる特色を有する地域経済を実現する。 ・建設、観光など、ドローン以外の他分野と連携し、本事業を通じて市内ドローン事業者の競争力を強化し、関連分野への技術供給やサービス展開を促進することで、地域全体の産業高度化と付加価値創出を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 市内に既に生まれつつある産業集積をさらに強化するため、機体開発や技術革新、サービス開発等への支援を通じて企業の付加価値向上と投資促進を図り、継続的な操業を後押しする。また、セミナーや商談会、展示会との連携により、ユースケースの普及や事業者間のマッチングを進め、市の取り組みの認知度と企業立地の魅力を高める。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・ドローンに関する先端技術や新機体の研究開発を支援（補助金）3,400千円 ・セミナー、マッチングイベント（使用料等）546千円 国内最大級の専門展示会「JAPAN DRONE 2026」と連携し、同展示会の開催期間中、幕張メッセの別会場において、本市のドローン関連の取り組みや市内ドローン関連企業をPRするためのイベントを開催。						
主なKPI	①市内ドローン関連企業の従業者数（+18人） ②商談会の参加企業数（+111社） ③セミナーの参加者数（+411人） ④ドローン分野における規制改革提案数（+2件）					URL	https://www.city.chiba.jp/sogoseisaku/sogoseisaku/kikaku/chihousouseibukai.html
※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値 ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL							

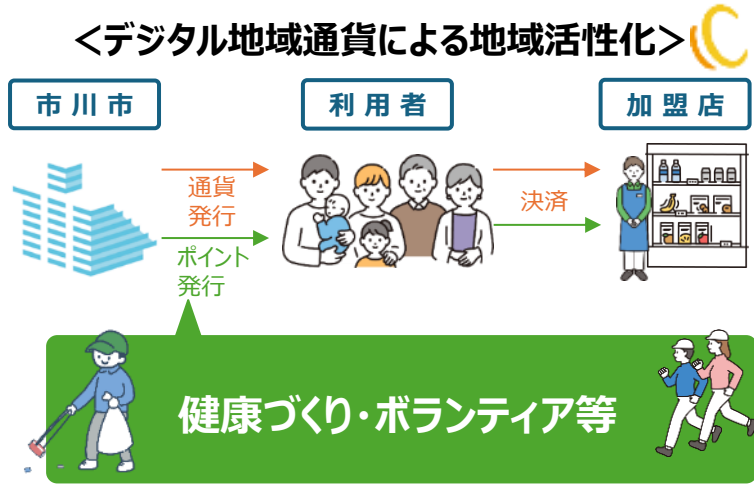
事業概要：地域ぐるみでの事業承継・創業支援プロジェクトを通じた地域脱炭素モデル推進事業

新規

申請者	千葉県銚子市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	22,050千円 (7,350千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	本事業は、創業・事業承継支援と脱炭素経営支援を一体的に展開し、講座や伴走支援、イベントを通じて地域ぐるみの持続可能な経済循環とゼロカーボン推進を実現する。 まちづくり大学や起業・創業イベント、関係人口創出のコミュニティイベント、食に関するワークショップなどを開催し、若者や女性のUIターン促進を通じて地域に新しい雇用と活力を生み出す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 地域経済の担い手である中小事業者の後継者不在、若年層の域外流出、創業機会の不足が加速しており、公民連携の事業承継・創業支援体制が中核となり、地域資源を活かした中小事業者の脱炭素経営への転換を後押しするとともに、次世代の担い手育成・脱炭素ビジネスの創出・関係人口とのマッチングなどを一体的に推進する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 銚子市事業承継・創業支援ラボ運営協議会への負担金 7,350千円 ・ワークショップ開催経費（講師報酬、費用弁償）100千円 ・インキュベーション施設使用料600千円 ・銚子まちづくり大学運営委託料2,000千円 ・地域の魅力発信・関係人口創出イベント開催経費（東京銚子会、銚子東京会）300千円 ・起業・創業支援業務経費300千円 ・起業・創業者に関するピッチイベント開催委託料2,000千円 ・アドバイザー委託料2,000千円 ・運営事務費等50千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における付加価値額の増加（+2,550万円） ②地域における創業者数（+6件） ③伴走支援を通じた経営改善・脱炭素導入事業所数（+15件） ④事業所におけるCO2削減率（+9%）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.choshi.chiba.jp/shisei/page0201_00128.html

事業概要：デジタル地域通貨推進事業

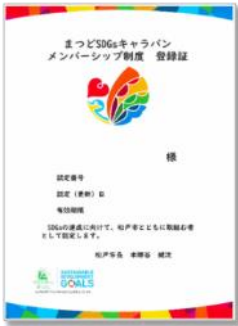
旧制度（推進）

申請者	千葉県市川市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	330,025千円 (109,328千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	持続可能な未来につながるまちづくりを目指して、デジタル地域通貨事業の推進を行う。 (1) デジタル地域通貨の仕組みを活用した市内経済循環の実現による地域経済活性化 (2) ボランティアや自治会活動等にインセンティブとして行政ポイントを付与することによる市民活動の活性化 (3) 健康ポイントを通じた健康寿命の延伸		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 デジタル地域通貨ICHICO（イチコ）を導入し、利用地区やICHICOポイントの対象事業を拡大することで、市内経済及び市民活動の活性化と社会課題の解決を図るとともに、健康ポイント事業Aruco（アルコ）との連携を通じて、健康寿命の延伸に貢献し、まちの更なる活力と魅力向上を図る。		
	【R8年度事業 経費内訳】 ○デジタル地域通貨システムの運用 システム使用料（使用料）7,634千円 チャージ環境提供手数料（手数料）71,984千円 ○デジタル地域通貨推進事業の運営に関する事業 事務局経費（委託料）17,500千円 ○健康ポイントシステムの運用 システム使用料（使用料）12,210千円		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画 における「KPI増加分の累計」 の目標値	①地域の人口 (+1,300人) ②加盟店舗数 (+1,020店舗) ③行政ポイント付与ポイント数 (+91,803,420円) ④健康ポイント新規参加者数 (+13,000人)		URL ※交付金の具体的使 途・実施体制・効果検 証の結果及び改善方策 への反映が記載されてい るURL https://www.city.ichikawa.lg.jp/page/2869.html

申請者	千葉県船橋市					初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	79,000千円 (15,000千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	船橋市内で実施する初の全国規模のスポーツイベントとなる、B.LEAGUE ALL-STAR GAME 2025を契機とし、多様なステークホルダーに、本市をホームタウン等として活動するトップスポーツチームを地域資源と捉えてもらうとともに、そのイベントの効果を一過性とさせないよう、各ステークホルダーが継続的に連携を推進する体制を整え、ブランディングやシティプロモーション等の取り組みを実施することで、新しい交流・関係人口を創出し、地域活性化・経済活性化を推進するとともに、チーム応援の機運醸成に繋げていく。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 以下に掲げる事業を実施する委員会を設立し、船橋市、チーム、経済団体等様々なステークホルダーが連携する体制を整え、交流・関係人口増加に向けブランディング・シティプロモーション等の事業について、自立性をもって継続的に検討・実施する体制となるまでの期間、その費用を補助する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 スポーツチーム連携推進事業への補助金 15,000千円 - 以下、補助対象事業の想定 - ●委員会の設立・運営 ●地域活性化イベント (パレード、報告会、パブリックビューイング、ファン感謝祭 等) ●チームPR・シティプロモーション (屋外装飾、プロモーション動画作成、コラボレーション商品制作販売 等)						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域の人口・世帯数（+4,850人） ②市外から流入した滞在人口（+3,000人） ③船橋市プロスポーツ等連携推進委員会が実施する連携事業数（+10事業）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.funabashi.lg.jp/gakushu/006/p130029.html

事業概要：地方創生SDGs産学官民連携推進事業

旧制度（推進）

申請者	千葉県松戸市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R9年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	46,218千円 (6,502千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	・SDGsを原動力に産学官民の連携を促進するため、「まつどSDGsキャラバンメンバーシップ制度」（松戸市SDGs宣言登録制度）の登録者等を中心に多様な連携を促進する。 ・SDGsネイティブとも言われるZ世代を主体に、市内の地域課題解決に向けた取組みを推進する。 ・大学等との共同研究及びその成果を活用し、産学官民を軸とした多世代交流を推進する。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 SDGsの目標達成を原動力とした産学官民の連携を推進することで地域課題解決を目指す。	 まつどSDGsキャラバンメンバーシップ制度登録証  Z世代による活動 (SDGsフォーラム)  設置されたウォーキングプログラム (TOKIWALK) チェックポイント	
	【R8年度事業 経費内訳】 ●SDGsを原動力にした産学官民連携促進 ・市独自のSDGs宣言登録制度に係るセミナー等の実施（委託料）1,720千円 ・諸経費（郵送料・印刷製本費・消耗品等）194千円 ・SDGs推進に係る会議運営（報償費等）68千円 ・大学等による住民参加型イベントの支援（補助金）800千円 ●Z世代のネットワーク構築 ・Z世代による「まつどSDGsキャラバン推進事業」（委託料）1,300千円 ●産学官民連携による多世代交流の推進 ・市民の健康増進に向けた共同研究（委託費）2,420千円		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①SDGs産学官民連携に係る提案マッチング数（+140回） ②「まつどSDGsキャラバンメンバーシップ制度」に登録した事業者数（+520者） ③「まつどSDGsキャラバン」に参加するZ世代数（+90人） ④市内4大学の在学生における市内就職率（+1.7%）	URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.matsudo.chiba.jp/shisei/keikaku-kousou/sdgs/index.html

事業概要：春雨橋親水エリア運営基盤整備事業

新規

申請者	千葉県松戸市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	32,500千円 (15,000千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・春雨橋親水エリアを舞台に“個店、活動、交流”といった多様な「豊かさ」を生み出し、エリア価値の向上を目指す。さらに、エリアを目的地化することで地域の回遊性向上と地方創生を図る。 ・マーケット開催や広場利活用により、来訪者との接点を創出し、地域事業者・活動の認知向上を促進することで、地元事業者や個店にとっての新たな販路・チャレンジの場となる。 ・大規模・外部主導の産業集積ではなく、地域の人材・活動・空間を活かした地場産業支援を行う。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ・「担い手の育成・集積の仕組み」の運用により地域の担い手の伴走支援を実施し、公共空間や、地域の空き家・空き店舗へ活動を根付かせ、エリア価値の向上、駅周辺の回遊性向上に寄与する。 ・春雨橋親水広場の一般利用を促進することで市民活動の場と機会を生み出し、市民活動の増加と地域のにぎわいを創出する。 ・本事業参加者と地元団体との連携により、多世代交流や地域連携を強化し、コミュニティ創出を促進する。						
	【令和8年度事業 経費内訳】 1. 活動の担い手の育成・集積の仕組み企画及び運営 6,521千円 2. 一般利用の企画及び運営 1,855千円 3. 収益事業の企画及び運営 1,677千円 4. 必要設備等の企画及び運営 1,000千円 5. 活動の情報発信の実施 2,100千円 6. 報告書作成費 961千円 (施設整備・事業設備・備品経費) 1. 設備整備等 886千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域内人口（+500人） ②プロジェクトメンバー数（+250人） ③春雨橋親水広場利用数（+80回） ④起業・出店等相談件数（+25件）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年7月公表予定

※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値

※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL

申請者	千葉県野田市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	405,846千円 (500千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	多くのスポーツやイベントに利用できる多目的広場や遊歩道を整備しスポーツ環境の向上を図る。 調整池を活用した釣大会の開催や隣接する地域福祉センターとの連携により子供から高齢者まで地域の交流を深め、にぎわいの創出に寄与する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 調整池及び建屋跡地の周りに遊歩道を設置し隣接する少年野球場の園路と接続することによって、ウォーキング、ランニング、散策などで楽しめるようにし、調整池を釣り堀として活用することにより子ども釣大会や障がい者釣大会の開催を計画する。建屋跡地は、「多目的広場」として新設整備し、少年野球や少年サッカー、グラウンド・ゴルフ、ソフトボール等での利用のほか、イベント広場としても活用できるようにする。さらには隣接する地域福祉センターと連携したイベント等も開催し子供から高齢者までの交流を深め地域のにぎわい創出に寄与する。また、本施設は野田市のみどりを感じながら子供が自由に遊べるため、子育て世帯の市外からの流入や関係人口の創出に繋げることができる。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業経費 野田スポーツ健康まちづくり推進協議会事業費補助 スポーツを通じたまちづくりの調査・研究、スポーツフェスタの開催・運営、地域のにぎわいづくりに関する企画・運営 ・事業費（補助金） 500千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①人口の社会増数（+4,000人） ②スポーツ施設の利用者数（+8,800人） ③市内運動会及び各地区スポーツ行事の参加者数（+1,905人） ④スポーツ教室参加者数（+365人） ⑤（仮称）関宿スポーツフィールドで実施したイベントの来場者数（+3,826人） ⑥のだ健康・スポーツアプリ登録者数（+4,650人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.noda.chiba.jp/shisei/shisei/1051087/1051082.html

事業概要：（仮称）高校生レストラン整備事業

継続

申請者	千葉県野田市					初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	54,009千円 (1,000千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	市民とのつながりを重視した魅力発信拠点を整備するため、市役所庁舎内の閉店したレストラン施設を活用して、地元産の食材を使用した料理を提供する高校生レストランを新設する。 話題性やテレビの影響力を利用して新たな観光資源として発展させ、市民を含めた多くの方に野田市の魅力を感じていただく機会を提供し続けることで、地域経済の持続的発展と定住人口の増加に寄与する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 市民とのつながりを重視した魅力発信拠点を整備するため、市民が日常的に利用する市役所庁舎に高校生が自ら栽培する地元産の食材を使用した料理を提供するレストランを新設し、新たな観光資源として発展させる。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 高校生レストランを活用した料理コンテスト 184千円 高校生レストランの新メニュー開発を行うとともに市内外に向けて当市の地場産野菜のPRを行うことで、当市の農産物への関心を深め、将来的な関係人口の増につなげる。 市外若年層を対象とした野田市の魅力体験ツアー 816千円 移住や就農を考えている方を対象としたツアーを実施するにあたり、高校生レストランを食事兼休憩場所として利用することで関係人口の増のみならず、若年層の移住・定住を図る						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①人口の社会増（+600人） ②拠点における年間入込客数（+2,000人） ③認定農業者数（+2人） ④観光イベントの入込客数（+2.1万人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.noda.chiba.jp/shisei/shisei/1051087/1051082.html

申請者	千葉県野田市					初回採択回	令和8年1月募集		
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	126,216千円 (125,216千円)		
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業				
目的・効果	鉄道高架下に（仮称）高架下スポーツパークとして、3×3のバスケットボールコート及びスケートボードパークを整備する。また、プロバスケットボールチームである千葉ジェッツふなばしと連携することで、多様な意見、成功事例を取り入れながらスポーツによるまちづくりを推進する。さらに、スポーツ以外にも、チアリーダーによるダンス教室や健康体操教室等を行うことで、高架下を多様な使い方ができる空間として整備し、そこを訪れる方や地域住民をつなぐことにより、「居心地が良く歩きたくなるまち」を目指すものである。 本施設の整備を通じ、駅や駅前のにぎわいを創出し、区画整理地内に商業施設や飲食店等を誘致することで、地域経済を活性化させ市内外から人を呼び込むことを狙いとする。								
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ・3×3バスケットボールパーク整備（新設） コートは、プロバスケットボールチームの千葉ジェッツふなばし監修のデザインコートとし、さらに、バスケットボールだけではなく、千葉ジェッツふなばしのチアリーダーによるダンス教室なども開催する。また、駅からバスケットボールをプレイしている様子が見られるよう、駅自由通路とバスケットボールコートの仕切りを強化ガラスに変更することで、自然と足が向くような施設とする。 ・スケートボードパーク整備（新設） 近年競技人口が急増している3×3バスケットボールコートと併設することで、近隣にはない複合施設とし、より多くの参加者、来訪者を呼び込む。					 ↑ 整備場所			 ↑ 【参考】バスケットボールパーク
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・千葉ジェッツふなばしの選手やプロアスリートによるオープンイベント（委託料）200千円（報償費）50千円 ・千葉ジェッツふなばしやプロアスリートによる各種運動教室の開催（委託料）200千円（報償費）50千円 ○拠点整備事業 ・施設本体工事 118,556千円 ・トイレ設置工事 6,160千円					→ 【参考】スケートボードパーク 			
主なKPI	①区画整理地内の土地利用面積（+9,423㎡） ②駅乗降客数（+1,476人）③施設利用者数（+12,000人） ④市内の地区運動会及びスポーツ教室参加者数（+1,721人） ⑤健康・スポーツポイント事業の参加者数（+5,482人） ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL		https://www.city.noda.chiba.jp/ku-rashi/kankyo/1037335/1050183.html	

事業概要：佐倉ふるさと広場拡張整備事業

新規

申請者	千葉県佐倉市						初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R13年度						期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	1,078,145千円 (297,717千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業	✓		
目的・効果	・高機能な開発拠点を核に、伝統ある地域の特産品のブランド化を展開し、地場産業の付加価値向上を目指す。 ・地域全体で新たな販路開拓に向けたノウハウやネットワークを学び、地域課題である伝統産業の伝承や成長に繋げる。 ・海外企業とのビジネスを通じた外需獲得に向け販路開拓等を幅広く支援し、地域経済の拡大を目指す。							
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 佐倉ふるさと広場の拡張整備や風車の模様替えを行うほか、1年を通して賑わいのある空間とするため、公募設置管理制度（Park-PFI）により新規整備を行う飲食施設・物販施設における地元農産物等を活用した商品づくりや指定管理者によるイベント等を実施する。 また、インフラ整備事業にて実施する佐倉ふるさと広場拡張整備、拠点整備事業にて実施する風車の模様替え、飲食施設・物販施設の新規整備やイベント等の実施に伴う交通量の増加に対応した大型観光バス等の受入体制の整備やアクセス性向上のための道路改良事業（道路拡幅）を実施する。 事業を通じて、交流拠点の機能強化、アクセス性の向上、飲食施設・物販施設の整備により、通年での交流人口・関係人口の拡大が図られることで、地元農産物等の消費拡大につなげていく。							
	【R8年度事業 経費内訳】 ○インフラ整備事業 ・佐倉ふるさと広場拡張整備 297,717千円 1年を通して賑わいのある空間となるよう既存のチューリップフェスタ等の各種花の開花に合わせたイベントを拡充するほか、新規の花に係るイベントを実施出来るように拡張整備を行う。							
主なKPI	①佐倉市観光客入込客数（+245,000人） ②1人当たりの観光消費額（+575円／人・回） ③佐倉ふるさと広場エリアの交流人口（+206,435人） ④観光コンテンツの造成件数（+7件）						URL	令和8年9月公表予定
※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値						※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL		

事業概要：地域資源を活用したシティプロモーション推進事業

継続

申請者	千葉県旭市					初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	55,948千円 (8,800千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・市民の郷土愛の創出とまちづくりへの積極的な参加を促す。 ・撮影支援の過程で発生する様々な経済効果や地元農水産物を利用した特産品等の開発と活用などの産業振興を図る。 ・ロケ地を訪れた人々が特産品等の食文化に触れ旭市にさらなる魅力を感じ、ファン度が高まることで関係人口の増加と地域の活力が向上する好循環を生み出す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 新たに撮影支援を行政が市民や事業者と一体となって行う官民連携組織を設立し、都心から80キロ圏、成田空港から25キロ圏という交通の利便性や温暖な気候に加え、豊富な農水産物や海、台地、農村風景といった様々なロケーションを備えることを強みとしてロケ地の情報発信・提供を行い、撮影に関する支援をワンストップで行う体制を作る。また、ロケ地としての実績を効果的に情報発信し、作品の舞台を訪れてもらうロケツーリズムを推進する。					【ロケツーリズムで目指すこと】 効果的な情報発信 (シティプロモーション) 観光振興 地域活性化(経済効果) 関係人口増 観光客 移住者 UP	
	【R8年度事業 経費内訳】 ・ロケツーリズムによるシティプロモーションの推進人材育成（委託料）1,760千円 行政単独で行ってきた撮影支援を官民協働で行っていくため人の育成やルールづくりのセミナーやワークショップの開催 過去のロケ実績を含む市内ロケ地を整理し、業界関係者に向けて情報発信することで、積極的な誘致活動を行う ・メディアを利用したロケ誘致の推進（委託料）7,040千円 既存実績を活用したロケ地マップの作成 業界関係者へ市内ロケ候補地の周知PR等						
主なKPI	①新たな協議会によるロケ誘致件数（+60件） ②特産品等の開発件数（+10件） ③観光入込客数（+55,000人） ④移住相談件数（+130件） ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.asahi.lg.jp/soshiki/4/9569.html

申請者	千葉県旭市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	19,152千円 (6,009千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・デジタル化への関心を高めるための啓発セミナーを開催し、希望する事業者を対象にデジタルシステム導入に関する企業診断セミナーを開催する。 ・セミナー受講事業者のうち希望する事業者に、デジタル化導入に関する有識者による伴走支援を行い、スムーズかつ効率的なデジタル化を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ・市内事業者を対象にデジタル化に関する啓発セミナーを開催し、デジタル技術の導入を希望する事業者には専門家による伴走支援を行う。 伴走支援報告会の実施により成功事例を共有し、成功モデルとして市内事業者への横展開を推進することで市全域の事業者へデジタル化が一層浸透することが期待できる。 また、市内の県立高校と連携し、報告会の周知などで高校生に対し地域の課題を共有し、若者の課題意識を底上げすることで事業者の活性化を目指す。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・事業者デジタル化支援事業（委託料）6,009千円 (1)ヒアリング 市内事業者へのヒアリングを行い、デジタル化に関する現状を調査するとともに、本事業の周知を図る。 (2)セミナー ①DXの内容や事例紹介等に関する啓発セミナーを実施。②啓発セミナーで興味を持った事業者を対象に企業診断セミナーを実施。 (3)伴走支援 希望事業者を対象に、当該企業の抱える課題に沿ったデジタル化の提案、導入に関する支援を実施。 (4)発表会 発表会開催により、本事業の取り組みを市内に周知し、DX波及を図る。						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における新規雇用者数（+15人） ②デジタル導入企業数（+15社） ③デジタル人材スキルアップセミナー参加者における就労者数（+12人） ④地域幸福度（Well-being)指数 主観データ（雇用・取得）（+3%） ⑤地域幸福度（Well-being)指数 主観データ（事業創造）（+3%）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.asahi.lg.jp/soshiki/4/9569.html

事業概要：手賀沼エリアの水辺観光拠点化推進事業

旧制度（推進）

申請者	千葉県柏市	初回採択回	令和6年度第1回募集	
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	59,000千円 (8,000千円)	
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野	
目的・効果	・コロナ禍を経て、生活や価値観も多様化し、自然環境で過ごす時間や暮らしの需要が高くなっている。 ・手賀沼周辺地域は東京都心からも近距離であり、現在の暮らしの延長上で、都市の利便性を享受しつつも、手賀沼を中心とした水辺・自然環境の魅力や様々なコンテンツなどを体感・体験してもらうことで、暮らしのなかにある観光地、田園地域としてのモデルの確立を目指す。			
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 手賀沼エリアの集客拠点である「道の駅しょうなん」において、各種コンテンツの自走化に向け、拠点機能の統合化を図る。 手賀沼エリアへの来訪の起点、アクセスのための玄関としての機能強化に向けたイベント等を実施する。		 手賀沼。都心から最も近い天然湖沼。 手賀沼が織りなす自然風景は、清らかで美しく、季節折々に表情豊かに魅せる。 かつて文人たちをも魅了した「手賀沼時間」は、成熟した現代においてはさらに深まり、ユニークな魅力を有した空気感を醸し出している。 柏から味わう手賀沼は、手ごろだが、実は奥が深い。だからきっと、抜け出せない。 それが、柏のTEGA。	
	【R8年度事業 経費内訳】 ・各種イベント等の実施に関する委託費：5,000千円（コンテンツ企画・実施：4,000千円、会議運営等：1,000千円） ・地域産品を活用したイベントの実施に関する委託費：3,000千円（民間イベント誘致に向けたショーケースイベント経費）			
KPI ※カッコ内の数値は実施計画 における「KPI増加分の累計」 の目標値	①地域における観光消費額【道の駅しょうなん売上額】 （+1億円） ②観光施設の入込客数（+146.5千人） ③各拠点にて実施したコンテンツの利用者数 （+2,400人） ④地域観光イベントの利用者数（+12,000人）		URL ※交付金の具体的使 途・実施体制・効果検 証の結果及び改善方策 への反映が記載されてい るURL	https://www.city.kashiwa.lg.jp/keiei/shiseijoho/keikaku/sonota/6874.html

事業概要：あけぼの山周辺地域振興事業

継続

申請者	千葉県柏市					初回採択回	令和7年度第2回募集
事業計画期間	R7-R12年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	3,130,500千円 (100,000千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	柏市における10年後の人口減少を見据え、「あけぼの山公園」、「柏市あけぼの山農業公園」を滞在型観光拠点として再構築し、公園機能の強化や民間投資の誘導を通じて、地域経済の核へ発展させる。 さらに関係人口の創出と交通利便性の向上により、都市住民の余暇消費を支える場として、ウェルビーイングと持続可能な地域成長の実現に寄与する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 ①公園認知度向上と広域誘客を目的にプロモーション強化、②公園の魅力向上と長時間滞在の促進を目的に公園リニューアル、③収益性と独自性のあるサービス創出を目的に民間誘致による事業展開、④持続可能な公園運営を目的に共創プラットフォームの構築、担い手の育成、⑤交通インフラ整備による来園環境の改善を目的にアクセス道路・駐車場整備を実施する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○ソフト事業 ・ランドスケープ計画の策定（委託）43,000千円 ・目玉となるイベントの実施（委託）14,000千円 ○インフラ整備事業 ・道路整備事業 39,100千円 新たなアクセス道路整備に向けた設計を行う						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①当地域における観光消費額（＋5,060万円） ②公園の年間来園者数（＋17万人） ③閑散期における来園者数（＋8.5万人） ④春の時期における住宅地の渋滞長の減少延長（＋0.5km） ⑤市外の人に柏市を自慢できる市民の割合（＋1.5％）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年8月公表予定

旧制度（推進）

申請者	千葉県勝浦市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	41,435千円 (13,391千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	●公共交通空白地の解消 ●夜間の移動手段の確保による地域住民の安全確保及び観光振興 ●運行管理におけるデジタル技術の導入による利便性向上 ●モビリティ・マネジメントの推進による公共交通の利用促進		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 単に既存の公共交通の存続ではなく、新たな形の公共交通の導入のほか、デジタル技術の活用などにより、より効率的で利便性の高い公共交通網の形成を目指すとともに、公共交通における課題を地域全体で認識し、課題解決に向けた取組を行う。		
	【R8年度事業 経費内訳】 ■持続可能な移動手段の確保（委託料等）7,418千円 ・公共交通不便地域の解消に向けた新たな公共交通の運行 ・夜間における移動手段の確保 ■持続可能で利便性の高い交通網の形成に向けた検討（委託料）3,927千円 ■公共交通の利用促進に向けた取組（委託料）2,046千円 ・公共交通を利用したお出かけツアーの実施 ・モビリティ・マネジメントに関するセミナー等の実施 等		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画 における「KPI増加分の累計」 の目標値	①地域の人口・世帯数（▲2,328人） ②人口における社会増減数（+120人） ③市内路線バス利用者数＋デマンドタクシー利用者数＋新たに導入された公共交通の利用者数（+4,900人） ④旅行消費単価（+1,200円）		URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL https://www.city.katsuura.lg.jp/page/1284.html

申請者	千葉県市原市					初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6－R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	1,858,085千円 (1,464,135千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・チバニアンのガイダンス施設を整備することにより、チバニアンの価値や魅力を活かし、本市の新たな観光資源のひとつとする。 ・チバニアン周辺の市南部地域に点在する「高滝湖」「養老溪谷」「小湊鉄道」「ゴルフ場」といった魅力的な観光資源との連携により相乗効果を図り、本市の目標である交流人口500万人を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 地層を一見ただけではわかりづらいチバニアンの価値や魅力をわかりやすく伝えるため、現地に新たにガイダンス施設を整備し、本市の新たな観光資源として多くの人々が集う交流・賑わいの場とする。 さらに、チバニアン周辺の市南部地域に点在する「高滝湖」「養老溪谷」「小湊鉄道」「ゴルフ場」といった魅力的な観光資源との連携強化により相乗効果を図り、これらの観光資源間の回遊性を向上させる取組を行う。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・建築工事費 862,619千円 ・電気設備工事 174,178千円 ・機械設備工事 143,923千円 ・駐車場・バス乗降場整備 120,813千円						
主なKPI	①地域の観光消費額（+305,000千円） ②市内観光入込客数（+1,500千人） ③チバニアン年間来場者数（+27千人） ④ツアー（教育旅行含む）受入れ回数（+120回）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.ichihara.chiba.jp/article?articleId=61004714de0c5f03dc0b5314

※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値

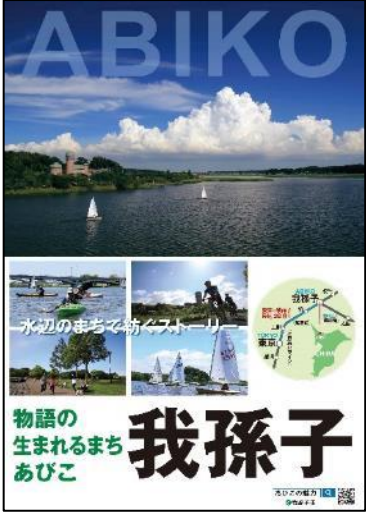
※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL

申請者	千葉県市原市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	595,890千円 (514,745千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・2023年度から取り組んできた「創業するならいちハラで」実現プロジェクトの「ひと」と「しごと」の好循環に、「まち」の要素を大幅に強化し、本市の中心都市拠点に所在する五井駅と直結したサンプラザ市原を産業創造拠点として整備し、「ひとづくり・しごとづくり・まちづくり」に資する新たな機能を創出することで、「働きたくなるまち」実現の加速化を目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 施設の魅力や利便性の向上のための改修工事を実施し、弁護士や中小企業診断士、各種専門家を配置した中小企業者等、ニーズに寄り添った相談対応やセミナー・交流会の開催といった既存の産業振興機能に加え、シェアオフィスやワーキングブースの設置、ビジネスコミュニティの創出、定期的なイベントの開催といった新たな機能を展開することで、施設全体の利用促進を図る。 ＜リノベーション概要＞ ➢ 2F、6F、7F、8F、11F、12Fのレイアウト変更に伴う内装工事 ➢ 施設機能保全工事（雨漏り防止のための外壁・防水改修等） ➢ 空調設備等改修工事（既存設備の機能改善等）					産業創造拠点の産業振興機能の大幅強化 「ひとの活力」を高める拠点 臨海部のものづくり産業に必要な人材や、地域産業に新たなビジネスを生み出す人材、DX時代の到来を捉えた自己発信力豊かな人材が育ち、市内各地で活躍する拠点 「しごとの底力」を高める拠点 臨海部企業の発展を下支えし、地域産業や起業・創業のチャレンジを後押しするとともに、臨海部企業・地域産業・公共の連携によるイノベーションの創出・新産業創造を促す拠点 「まちの魅力」を高める拠点 立場を超えて様々なひとが寄り集まり、交流の中から絶えず地域に新たな産業や魅力が生み出され、賑わいを創出する拠点 健康増進・文化向上機能の訴求力向上 施設全体の利用促進、賑わいの創出 	
	【R8年度事業 経費内訳】 ・建築工事費：126,976千円 ・電気設備工事費：35,401千円 ・機械設備工事費：320,669千円 ・備品費等：31,699千円						
主なKPI	①産業創造拠点の支援により市内で起業した事業者数（+44者） ②施設利用者数（+55,500人） ③コーディネーター・専門家による支援件数（+178件） ④ビジネスコミュニティ形成に係る交流会・セミナーなどへの参加者数（+153人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.ichihara.chiba.jp/article?articleId=69d5cacf13f3e906a09f7c32

※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値

事業概要：我孫子市自転車観光推進事業

旧制度（推進）

申請者	千葉県我孫子市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	19,301千円 (5,057千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的・効果	・我孫子市の観光資産を巡る自転車観光コンテンツの造成 ・24時間365日借りられる観光スマートサイクルの導入 ・自転車を切り口に個別性の高い多様な観光資産を一括して振興 ・第1次産業・第2次産業・第3次産業の一括振興と地域経済循環の改善をはかる		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 自転車を切り口に多様な観光資産を一括振興する。オンラインマーケティングで広域から観光誘客をし、併せてスマートサイクル（自動貸出）を導入し訪問の敷居を下げる。デジタルの力で観光入込客を増加させ、地域経済循環を改善し、住民の日常生活環境の維持向上と経済・文化・環境の統合的向上を図る。 【R8年度事業 経費内訳】 我孫子市の観光資産を巡る自転車観光コンテンツの造成 ・観光ポータルサイトホスティング費（委託料） 10千円 観光スマートサイクルの導入及び運営 ・運営費（委託料） 4,029千円 ・管理費（委託料） 953千円 ・携帯電話回線使用料（使用料） 36千円  自然と文化と食に恵まれた地域 多様な観光資産を一括振興 →地域経済循環の改善へ		URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL https://visit.city.abiko.chiba.jp/ (効果検証) https://www.city.abiko.chiba.jp/shisei/shingi_iinkai/gyouseikeiei/youushikishakaigi.html
KPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における観光消費額（+1億3,525万円） ②ポータルサイトの訪問者数（+201,582人） ③ポータルサイトの新規訪問者数（+98,676人） ④スマートサイクルの貸出回数（+11,969回）		

事業概要：五本松運動広場整備事業

継続

申請者	千葉県我孫子市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	968,723千円 (829,971千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	五本松運動広場の整備・改修を行い、市内外から多くの人々が集まるスポーツ・観光拠点とする。また、プロスポーツチーム等と連携した事業を展開することで地域一帯の魅力向上を図る。 市内外利用のあるキャンプ場との一体運営により、市外からの観光客を地域に呼び込み交流人口の拡大を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 五本松運動広場の整備・改修 (人工芝サッカー場整備、陸上競技用トラック整備、クラブハウス整備、屋根付きスタンド整備、芝生広場整備、駐車場整備、夜間照明整備)						
	【R8年度事業 経費内訳】 【整備事業費合計】829,971千円 ●建築物整備 217,957千円 (建築設計費 3,645千円、建築工事監理費 2,093千円、建築工事費 212,219千円) ●設備整備・用地造成等 566,152千円 (土木設計費11,755千円、土木工事監理費 4,397千円、土木工事費 535,700千円、敷地造成、植栽14,300千円) ●備品整備 45,862千円 (サッカーゴール、ラグビーボール、陸上用競技備品、クラブハウス用備品)						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地域の交流人口(市外利用人数)(+25,049人) ②五本松運動広場利用人数(+93,215人) ③ふれあいキャンプ場利用人数(+3,975人) ④スポーツ団体の会員数(+550人) ⑤運動を週2日以上行っている市民の割合(+2.1%)					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.abiko.chiba.jp/event/taiikukan_sport/gohonmatu_seibi/gohonmatuseibigaiyou.html

事業概要：みんなでつくる！芸術・文化と歴史を発信する賑わいの交流拠点整備事業

新規

申請者	千葉県四街道市						初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度						期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	2,000,000千円 (171,459千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業			
目的・効果	・文化・芸術、歴史を通じた交流の場を生み出すことにより交流人口・流入人口の増加を図り、賑わいの創出と利用者の増による経済活動の推進と、市民が地域の未来に希望を持てるよう、地域活力の向上を目指す。 ・市民が身近に四街道の歴史や文化・芸術に触れる機会を創出することで、市民が地域を誇り、愛着を持つ意識の醸成を図り、定住促進へ繋げるとともに、今後の地方創生を担う人材の育成、確保を目指す。 ・本拠点が創出する賑わい（交流人口）を、周辺の中心市街地や商店街へ回遊させることで、地域消費の喚起を促し、「地域経済の維持及び拡大」を目指す。							
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 本市の文化活動の拠点である文化センターにおいて、機能拡充、バリアフリー化を実施するとともに、市内に点在している文化・芸術、歴史施設を集約化し、交流の場を生み出す。 整備を通じて、市民等が身近に四街道の歴史や文化・芸術に触れる機会を創出することで、市民が地域を誇り、愛着を持つ意識の醸成を図り、定住促進につなげる。 市内外から多世代が多様な目的で来館する機会を創出し、滞在時間の延伸を通じた、交流人口の増を目指す。							
	【R8年度事業 経費内訳】 四街道市文化センター（改修） ・ホール棟改修工事 171,459千円 建築工事・電気設備改修工事・機械設備改修工事							
主なKPI	①市外から文化センター周辺を訪れる人の年間滞留人口（+58,610人） ②文化センター年間延べ利用者数（+12,865人） ③大ホール利用率（+10%） ④中庭を活用したイベント開催数（+30回）						URL	令和8年6月公表予定
							※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	

事業概要：地場産業活性化事業

新規

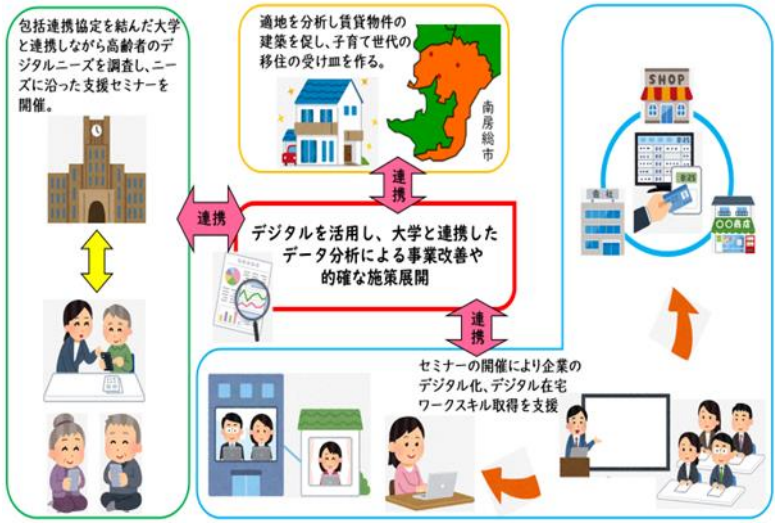
申請者	千葉県白井市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	11,937千円 (3,979千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	市の総合戦略では、目指すべき将来像として、地域経済の維持を図るため、持続可能な産業を実現し、それぞれのライフスタイルに合った多様で働きやすい環境を整えることにより、産業の活力を維持することとしている。 具体的には、基本目標①「持続可能な地域産業の強化と新たな賑わいの創出」より、地域の特性を活かした市内特産品を応援する取組や、工業団地エリアの価値を維持向上させる取組を推進することで持続可能な産業振興を図る。 さらに、市の産業振興を担う仕事を実際に体験することにより、市との関わりを増やし、市外への転出者の抑制とUターン等の促進等による移住者や関係人口の増加を図り、将来にわたり活気に満ちた持続可能なまちを目指す。						
事業概要・主な経費	【事業概要】 「まちづくり」とはなにかという原点に立ち返り、ヒトがモノ・カネを生み、これが「循環」することで、まちが成長していくことを踏まえ、好循環を生むためには「ヒト」が中心となり、行政だけではなく、市民や市に関わる全ての人々の力でまちづくりを担う。産業振興も同様に关わる人々との連携・協働により地場産業の付加価値を向上させ、新たな地域経済循環を生み出すことを目的とする。					 持続可能なまちづくり	
	【R8年度事業 経費内訳】 ・農業生産技術・経営改善支援事業（委託料）660千円 ・特産品応援事業（報酬、需用費外）918千円 ・こども仕事体験事業（委託料）2,401千円						
主なKPI	①農業産出額（+3億円） ②梨のJA市場取引価格（+57円/kg） ③地元農産物の新規取扱箇所数（+5件） ④ふるさと産品認定品目数（+17品） ⑤コンソーシアム形成数（+2団体） ⑥仕事体験参加者数（+840人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.shiroi.chiba.jp/soshiki/seisaku/s03/kis004/kis019/kis026/1509925645737.html

※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値

※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL

事業概要：デジタルを活用した地域活性化プロジェクト

旧制度（推進）

申請者	千葉県南房総市、千葉県館山市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	117,597千円 (39,199千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的・効果	デジタルを活用し大学と連携しながら、効果的な施策展開、事業見直しを実施する。 民間事業者に本市での賃貸住宅事業への参入を促すとともに、入居から市内定住への流れを作る。 市内のデジタル化を図るため、伴走支援セミナー等を開催する。 大学と連携し、高齢者のデジタル社会への対応を支援するため、デジタル活用セミナーを開催する。		
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 デジタルを活用し大学と連携しながら、効果的な施策展開、事業見直しを実施する。市内事業者のデジタル導入や起業・進出を後押しし、地域のデジタル化を促進する。高齢者のデジタル人材育成と利用支援を進め、誰もがデジタルの恩恵を受けられる環境を整えることで、暮らしやすさと地域活力の向上につなげる。		
	【R8年度事業 経費内訳】 ・大学と連携し、データ分析、施策展開へとつながられる体制を整備する要因分析経費（委託料）：1,000千円 ・市内事業者デジタル化セミナー等開催（委託料）：8,800千円 ・デジタル人材スキルアップセミナー等開催（委託料）：3,500千円 ・企業のデジタル化機材等導入に対する補助金：10,000千円 ・事業拡大、起業のための機材導入に対する補助金：15,000千円 ・高齢者を対象にしたデジタル活用セミナー経費（委託料）：899千円		
KPI ※カッコ内の数値は実施計画 における「KPI増加分の累計」 の目標値	①地域へのU I Jターン（+9人） ②デジタル導入企業数（+48団体） ③デジタル人材スキルアップセミナー参加者における就労者数（+63人） ④65歳以上の総合健診申込における、インターネット予約の割合（+4.50%）	URL ※交付金の具体的使 途・実施体制・効果検 証の結果及び改善方策 への反映が記載されてい るURL	https://www.city.minamiboso.chiba.jp/cmsfiles/contents/0000023/23016/r7_siryo4.pdf

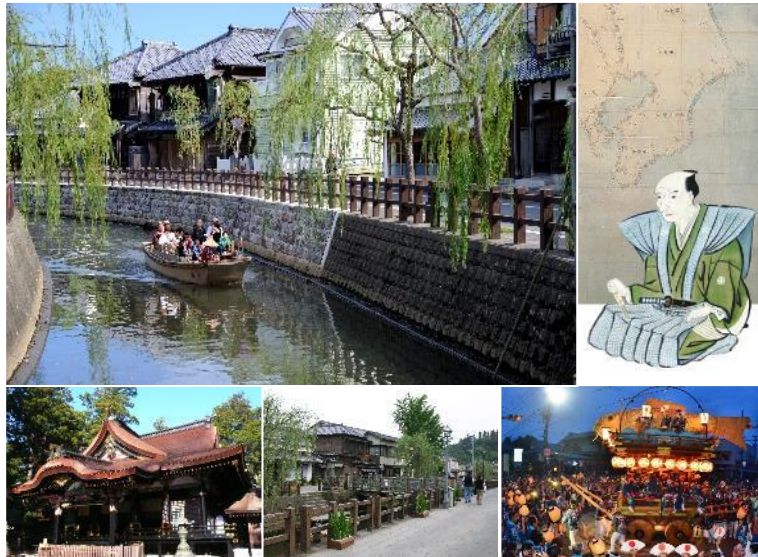
事業概要：道の駅の多機能化推進整備事業

新規

申請者	千葉県南房総市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	1,056,220千円 (316,700千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	人口減少や一次産業の衰退、観光需要とのミスマッチといった地域課題の解決を目的として、道の駅「ちくら・潮風王国」において、農産物直売機能をはじめ、飲食機能、情報発信機能、休憩機能及びバリアフリー機能など、地域特性を最大限に生かした施設の機能強化を図る。これにより、農漁業と観光の連携を一層促進し、交流人口の拡大、地域経済の活性化及び雇用の創出を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 地域課題の解決を目的として、道の駅「ちくら・潮風王国」において、海産物や地域の加工品をその場で味わえる飲食テラスの新設をはじめ、農産物直売スペースの整備、情報発信機能の刷新など、地域特性を最大限に生かした施設の機能強化を図る。併せて、身障者駐車場の上屋整備や授乳室の新設等を行い、バリアフリー機能の向上及び子育て世代の交流を促進する利用環境を整備する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・建築物本体工事 道の駅の多機能化整備 316,700千円 仮設店舗の設置 倉庫の新設 発電設備の整備 等						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①南房総市の観光消費額（+22億円） ②道の駅の売上金額（+1億450万円） ③道の駅の利用者数（+9万人） ④道の駅の登録農家軒数（+26人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.city.minamiboso.chiba.jp/0000023016.html

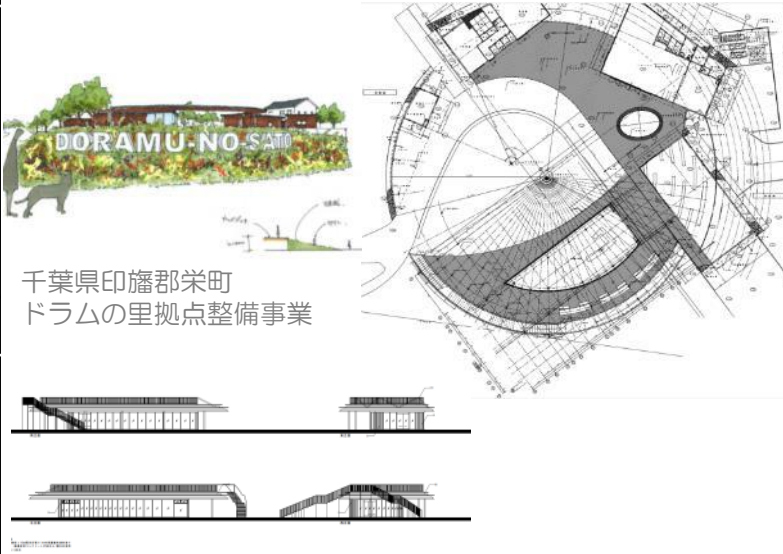
事業概要：「歴史」と「発酵」による魅力・回遊性アップ事業

新規

申請者	千葉県香取市					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R11年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	948,616千円 (31,658千円)
事業分野	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	市内の歴史的な観光資源(佐原の歴史的町並み等)のブランド価値の向上に加え、「発酵」文化の発掘・醸成及び、市内観光施設間の回遊性を高めることにより、観光地域を高付加価値化し、観光客の消費拡大のための滞在時間の延長及び観光客数の増加により地域の活性化を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 香取市内の「佐原の歴史的町並み」などの歴史的な観光資源のブランド価値の向上に加え、歴史あるもう一つの地域の特徴である「発酵」文化の掘り起こしと醸成を図るため、「発酵」イベントの開催や商品開発・観光体験コンテンツ開発支援などの取り組みを実施する。また、市内観光施設間のシャトルバス試験運行等や観光バス駐車場整備等の観光客受入れ環境整備により市内回遊性を高め、観光客の滞在時間の延長と「歴史」と「発酵」文化の鑑賞や体験等を目的とした観光客数増加を図り、観光による地域の活性化を目指す。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ○拠点整備事業 ・伊能忠敬記念館本館歴史資料保存環境整備事業：30,668千円 ・香取神宮観光案内所改装整備設計：990千円 香取神宮来訪者の満足度向上と佐原の町並みへの回遊性向上に資するため、参道に新たに空家（旧土産物屋）を改装した観光案内所を設置。						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①観光入込客数(小野川沿い)（+7万人） ②外国人来訪者数(佐原町並み交流館)（+6千人） ③店舗数（増加分）（+30件） ④宿泊者数（+1万3千人） ⑤伊能忠敬記念館入館者数（+5,200人）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	（交付金の具体的使途・実施体制） 令和8年10月公表予定 （効果検証） 令和9年8月公表予定

事業概要：栄町ドラムの里拠点整備計画

継続

申請者	千葉県栄町					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	747,691千円 (723,821千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	岐路に立つ栄町の農業を盛り上げていくため、新しい価値観やライフスタイルを体現する場所としてドラムの里を再整備し、「農」を通じた地域活性化の拠点として栄町の農業の再生と地域経済の活性化を目指す。栄町には、水田や里山など田園風景が残されており、人口10万人を超える成田市や印西市に隣接した地理的優位性を活かし、都会では味わえない鮮度の高い農産物や他にはないユニークな加工品の販売に取組み、さらに遊休農地を活用した野菜作りや収穫体験など様々な商品やサービス（体験等）を提供していくことで、地域のファンを獲得し、関係人口や交流人口を増やし、地域内外の人々がこの町を支える仕組みづくりを目指す。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 「農」を通じた地域活性化の拠点として再整備に取り組む。地域の農産物や開発した商品、サプライチェーンの再構築による取扱品目の増加に対応する売り場面積の確保やバックヤード機能の向上など、地元生産者の意見を取り入れた整備を行い、売り上げ向上を目指す。また、集客につながるレストランやイベントスペース、駐車場の拡張整備等に取り組む。					 千葉県印旛郡栄町 ドラムの里拠点整備事業	
	【R8年度事業 経費内訳】 ・建築物整備経費 659,450千円（R8事業） ・設備整備・用地造成等 51,150千円（R8事業） ・設備・備品整備 10,046千円（R8事業） ・効果促進事業 3,175千円（R8事業）						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①ドラムの里の売上額（年間）（+4,200万円） ②ドラムの里物販施設における登録農家件（+140件） ③栄町の特産農産物出荷額（+125トン） ④栄町の特産農産物（栽培）面積（+3,089アール）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	（交付金の具体的使途・実施体制・効果検証） https://www.town.sakae.chiba.jp/ 令和8年9月迄に上記HP公表予定

事業概要：千葉県一小さい町の「発酵×オーガニック」によるまちづくりプロジェクト

継続

申請者	千葉県神崎町					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	64,300千円 (15,400千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	「発酵×オーガニック」の独自コンセプトを構築し、ブランディング戦略を策定するとともに、道の駅の既存商品の磨き上げや売場づくり、販路拡大をすることで、神崎町の認知度・知名度を向上させ、観光客の滞在時間や観光消費額の増加を図る。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 「発酵×オーガニック」のブランドコンセプト、短・中・長期を含めた戦略、ロードマップを策定して地域ブランディングの方針を固める。 策定した戦略に基づき、看板商品の開発や積極的な情報発信を進める。 企画した特産品や観光コンテンツの販路展開による自走化が展開できる体制を整えることで、地域に持続的な経済波及効果をもたらすことが可能となる。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ●戦略に基づく看板商品作り（委託料）6,050千円 ●戦略に基づくプロモーション ・開発した商品をPRするためのセミナー（委託料）4,950千円 ●神崎町まちづくり推進組織の運営事業 ・（仮称）まちづくり機構の設立に向けた推進組織の運営支援（委託料）4,400千円						
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①「道の駅発酵の里こうざき」の売上高（+5億100万円） ②「道の駅発酵の里こうざき」の年間来場者数（+45万人） ③（仮称）神崎町まちづくり機構の売上高（+1千万円） ④発酵体験講座の受講者数（+800人） ⑤オーガニック栽培取り組み面積（+15,000㎡）					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.town.kozaki.chiba.jp/profile/machizukuri/2026-0525-0932-10.html

事業概要：道の駅発酵の里こうざき施設改修事業

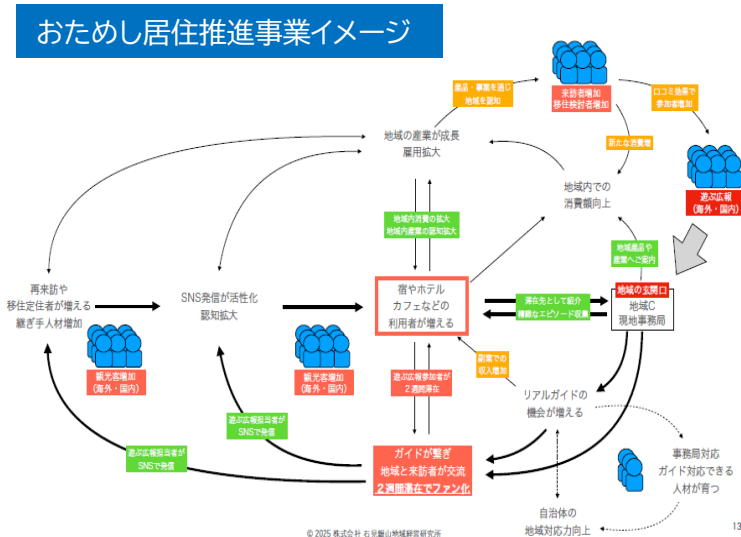
新規

申請者	千葉県神崎町					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	955,191千円 (955,191千円)
事業分野	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業		
目的・効果	・「圏央道神崎パーキングエリア」(仮称)の令和8年度中の供用開始予定に合わせて、本町の観光基幹施設である「道の駅発酵の里こうざき」をリニューアルし、「発酵」を通じた地域活性化を図るとともに、本町の観光入込客数および道の駅来場者数・売上額の増加を図る。 ・道の駅来場者数の増加や売上増加だけではなく、生産者・事業者の販路拡大の機会の増加や町内での新たな雇用の創出、さらには交流人口の拡大につながることで、道の駅を核とした地域づくりにつなげる。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 「圏央道神崎パーキングエリア」(仮称)の供用開始に合わせて、「発酵」によるまちづくりに取り組んでいる本町において、観光基幹施設であり、町の発酵を代表する施設である道の駅をリニューアル(発酵市場棟の売り場面積を現在の約3倍にする等)し、従前よりも「発酵」により特化した道の駅づくりを行うとともに、PA供用開始により増加する来場者に対応するよう道の駅施設を整備する。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・建築物本体工事 955,191千円 ①「発酵市場棟」の新築工事 売り場面積を約3倍に拡大し、全国から厳選した発酵食品を取りそろえた売り場づくりをし、より「発酵」に特化した道の駅施設にする。 ②「レストラン棟」等の増改築工事 PA供用開始に合わせて増加する来場者に対応するため、レストラン棟の増改築およびトイレ施設の新設を行う。						
主なKPI	①観光入込客数(+62万人) ②道の駅年間来場者数(+64万人) ③道の駅全体の販売額(+692,536千円) ④道の駅発酵の里こうざき全体での就業人数(+14人) ④発酵体験講座の年間受講者数(+880人)					URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	https://www.town.kozaki.chiba.jp/profile/machizukuri/2026-0525-0932-10.html

申請者	千葉県白子町						初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度						期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	27,848千円 (10,424千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業			
目的・効果	令和7年1月に候補DMO申請済みの観光地域づくり法人の登録DMO化を目指し、白子町の観光業の再構築と産業の高付加価値化を推進する。観光を軸に各分野を横断的に連携し、関係人口・交流人口・移住人口の増加を促進することで、持続可能な地域活性化を実現する。							
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 観光産業の再構築による交流人口・関係人口の拡大と、ファミリー層の転出抑制・移住促進を図る。最終的にはDMOが町内の観光・産業活性化の基盤組織として自立運営できる体制を目指す。 ・観光業の再構築及び白子町産業の高付加価値化 ・観光のリブランディングと町民のシビックプライドの醸成 ・登録DMOに向けた取組および中核となる人材育成						 	
	【R8年度事業 経費内訳】 観光業の再構築及び白子町産業の高付加価値化(5,424千円) 観光のリブランディングと町民のシビックプライドの醸成(1,000千円) 登録DMOに向けた取組および中核となる人材育成(4,000千円)							
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①観光客総人数（延べ）（+133.34千人） ②地域観光消費額（+2,000百万円） ③開発した観光コンテンツ数（+4個） ④転入超過数（+26人）						URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年6月公表予定

事業概要：おためし居住推進事業

新規

申請者	千葉県長南町					初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	12,309千円 (4,103千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		
目的・効果	・長南町のファンを戦略的に育成し、町民と滞在者(来訪者)たちが共に歩む共創の場をつくる。 ・町の日常を体感してもらうことにより、移住のハードルを下げ、定住・否定住を問わず、町を盛り上げる「長南町PR隊」として活躍してもらう仕組みをつくる。 ・この繋がりを起点に、産業振興や新たな雇用の拡大を図ることで、町全体の底上げと活性化を実現する。						
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 おためし居住推進事業は、お試し移住者が本町での暮らしを全力で楽しみ、その過程で得た感動や実感を自身のSNS等で発信することで、「外の視点」から町の魅力を再定義する取り組みである。 不便さを含めた町の日常や地域コミュニティに深く入り込む活動をする事で、よりリアルな交通事情と町の産業に興味を持ってもらえるようにし、担い手の確保や公共交通の活性化に寄与する。 また、滞在期間が終了した後も「長南町PR隊」としてネットワーク化を続け、交流人口の増加を目指す。						
	【R8年度事業 経費内訳】 ・委託費：4,103千円 運営管理システム料1,320千円 (お試し居住プログラム参加者の予約管理・顧客管理システムの年間利用料) 募集用Web制作・広告掲載費1,650千円 (プログラム参加者の集客を目的とした募集Web制作・運用、広告掲載、出稿SNS運用費等) 効果測定費1,133千円 (アンケート調査(基礎設計、全体分析、分析費用(従量)、中間報告・最終報告参加費))						
主なKPI	①交流人口 年間：102人以上(+306人) ②関係人口 年間：30人(+90人) ③滞在者の活動費等による経済効果 年間：2,100千円(+630万円)					URL ※交付金の具体的な使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	令和8年8月公表予定

事業概要：アーバンスポーツ振興による交流人口・移住、定住化促進事業

継続

申請者	千葉県大多喜町					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	53,900千円 (18,700千円)
事業類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		

目的・効果

本町でアーバンスポーツを振興させることで、「する」「見る」問わず多様なスポーツ体験機会を提供できる環境を形成し、若者にとっての魅力度向上を図る。町内産業と連携して事業推進することで、既存産業の活性化やアーバンスポーツを絡めた事業組成による新たな雇用創出を実現し、就業機会を求めた転出の減少＝地域人口の減少傾向是正を目指す。

【事業概要】

主に若年層が「アーバンスポーツをしたい」「アーバンスポーツでまちを活性化させたい」と思えるようなプログラムの展開を町内教育機関と連携して行う。町外に対してもオンラインプロモーションや大会・イベントによって「アーバンスポーツのまち」としての大多喜の認知獲得を目指す他、特にスポーツ関連人材からの興味喚起を狙ったデュアルキャリアモデルの仕組み構築を目指す。

【R8年度事業 経費内訳】

○町内に向けたブランディング事業（協力意欲の醸成）

- ・教育機関と連携したアーバンスポーツ普及業務 2400千円

○町外に向けたブランディング事業

- ・SNSを活用したプロモーション業務：600千円
- ・町内周遊プランの設計・町内各所への調整業務：3,900千円
- ・町内周遊プランの制作業務：1,000千円

○アーバンスポーツを軸としたにぎわい創出事業

- ・企画調整、イベントの情報発信、プロモーション：1,200千円
- ・イベント開催、運営：2,100千円

○スポーツ関連人材のデュアルキャリア形成支援事業

- ・スポーツ関連人材と町内事業者のマッチング手法の検討業務：2,800千円
- ・スポーツ関連人材の派遣に係る調整業務：800千円

○協議会運営事業

- ・協議会運営業務：600千円
- ・分科会運営業務：2,200千円

○持続可能な事業推進体制の検討・構築事業（体制の要件整理）

- ・事業推進体制の検討業務：1,100千円

主なKPI	①地域の人口数（▲540人） ②20－30代の転出超過数（▲30人） ③大会・イベント入場者数（＋300人） ④アーバンスポーツ施設の年間利用者数（＋3,600人） ⑤スポーツ関連人材の兼業可能に賛同した事業者数（＋10社） ⑥事業に参画する団体数（＋10団体）	URL	令和8年9月公表予定
-------	--	-----	------------

事業概要：地域のランドスケープと新清掃工場から供給される排熱エネルギーを活用する
地域づくり推進事業

新規

申請者	千葉県印西地区環境整備事業組合						初回採択回	令和8年1月募集
事業計画期間	R8-R10年度						期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	1,932,798千円 (66,000千円)
事業類型	ソフト事業		拠点整備事業	✓	インフラ整備事業			
目的・効果	「地域まるごとフィールドミュージアム」と題した構想のもと、「暮らしやすく持続できる快適なまち」「訪れたい魅力あるまち」「都市に近接した次世代に残したい里地里山」の具現化を図り、「清掃工場と共に育む地域づくり」のモデルケースを創出することで、地元町内会における長年の地域課題を解決し、活力と持続性を兼ね備えた「選ばれる地域」をつくる。							
事業概要・ 主な経費	【事業概要】 都市に近接した豊かな里地里山を代表とする地域のランドスケープと、新清掃工場から供給される排熱エネルギー（電力・低圧蒸気）を最大限活用する地域活性化拠点として、「入浴機能を核とした滞在型の多機能な複合余暇施設」を整備する。 運営にあたっては、地元町内会の全額出資により設立した法人を指定管理者に選定することで、地域づくり＝小さなまちづくりを支援する。 なお、主な来訪者（交流者）は、周辺の都市住民を想定する。 また、施設オープン後は、来訪者の声を聞きながら、事業収益を財源として様々な追加機能を段階的に整備することで、施設の訴求力・魅力度・競争力を高め続ける。							
	【R8年度事業 経費内訳】 ・倉庫建築デザインビルド （屋内余暇棟、露天風呂の設計業務） 66,000千円							
主なKPI ※カッコ内の数値は実施計画における「KPI増加分の累計」の目標値	①地元町内会の居住人口（+57.6人） ②年間来訪者数（+344,605.7人） ③年間売上額（+482,447,980.1円） ④視察の年間対応件数（+96件）						URL ※交付金の具体的使途・実施体制・効果検証の結果及び改善方策への反映が記載されているURL	http://www.inkan-jk.or.jp/jikisetsu/20260601-3-1.html